

令和8年度

試験名：国際バカロレア特別入学試験

【人間学群障害科学類】

区 分	標準的な解答例又は出題意図
	<p>今回の国際バカロレア特別入学試験では、障害科学類の専門分野に関連するテーマを扱った英文を読ませることによって、英文の読解力と論述における論旨の明確性、論理性等を評価することを目的としている。</p> <p>障害科学は学際的な学問であり、近年のデジタル技術の進歩によって、障害のある人の社会参加の問題を解消する手段の 1 つとしてオンライン空間も活用されてきている。今回は、障害のある人の孤立や孤独の問題に関する記事である“Why are a quarter of disabled people lonely? (BBC, 2015 年;英文①)”と、障害のある子どもに対するデジタル環境・オンライン空間を活用することのリスクと利点についての記事である“The online world comes with risks – but also friendships and independence for young people with disabilities. (The conversation, 2025 年: 英文②)”を取り上げ、一部改変して用いた。</p> <p>問題1では、障害のある人が直面する問題についての英文を日本語に訳すことを求めている。問題2では英文②を読み、孤立や孤独の問題を解消する手段の 1 つとしてデジタル環境・オンライン空間を活用することのリスクと利点について要約することを求めている。問題3では、問題 1 及び問題 2 を踏まえた上で、障害のある人が直面する困難を解消するために、オンライン空間を活用すること以外の方法の利点と課題について自らの考えを論じることを求めている。デジタル技術の進歩により、オンライン空間を効果的に活用できるならば障害児者の社会参加や自立への障壁は解消されるが、ネットリテラシーや適切な使用するためのスキル支援は不十分である。</p> <p>本問題では、障害種に共通するオンライン空間の利用の利点を理解した上で、現状の問題点とオンライン空間を活用すること以外の方法について自ら考え、どのように課題を解決すればよいか、現状とその先の未来について、論理的に思考し論述できるか、について求めている。</p> <p>以上のような点から、本問題は障害科学類の小論文問題として取り上げるに適切であると考える。</p>